

【中山間地域農業基盤整備促進事業 おめ地区】

中山間地域における基盤整備による高収益作物(梨)の生産拡大 (茨城県常陸太田市)

ひたち おおた

体制・人材
づくり

栽培作物
・方法

加工・出荷

販売

【工夫のポイント】

- 中山間地域農業基盤整備促進事業(県単)を活用し、休耕水田を果樹園に造成し、市の特産品である梨の生産拡大が図られた
- 経営体育成基盤整備事業による整備により、**水稻作付の省力化が実現した**ことで**梨の生産拡大に繋がった**
- ふるさと農道整備により作物(梨等)の輸送効率が向上した

【取組地域の概要】

位置
ひたちおおた
茨城県常陸太田市
(過疎法、振興山村、
特定農山村法指定地域)



おめ
小目地区

受益面積
0.6ha

(県単・中山間地域農業基盤整備促進事業)

【関連】

- ・21.8ha (県営・経営体育成基盤整備事業)
- ・110ha (県営・ふるさと農道整備事業)

主要作物
水稻、梨

関連事業

- ・経営体育成基盤整備事業 (H28~R5)
- ・ふるさと農道整備事業 (H30~R5)
- ・多面的機能支払交付金 (R5~)

関連事業による地区ほ場の整備と県単事業による果樹園(梨)の造成

【整備前】

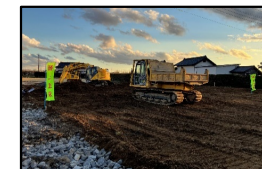
休耕していた未整備の水田では、営農効率が悪く、担い手の手が回らないこともあり、有効活用されていなかった



休耕化していた水田の状況

【整備後】

- 関連事業 (H28~) により、地域の水田の区画整理を行うとともに、併せて農道を整備
- 県単事業 (R6) により既存の果樹園周辺に残る休耕水田の**排水路及び暗渠排水整備と客土を行い、果樹園を造成**



排水整備、客土等の実施状況



造成した果樹園



区画整理実施後のほ場

基盤整備
(R6)

担い手への農地の集積と作付拡大

- 経営体育成基盤整備事業を契機に、水稻の担い手への農地集積が進展
- これまで水稻も作付けしていた梨農家が梨に専念できるようになり、**作付面積が拡大**

<農地集積率> (経営体育成基盤整備事業の地区内の水田)

[事業前] 27% → **[事業後] 78%**

<梨農家の耕作面積>

[事業前] 1.6ha → **[事業後] 2.2ha**

担い手

農産物輸送の効率化

関連するふるさと農道整備事業により、**農産物の輸送が効率化**



基幹農道
(ふるさと農道)

事業実施前後の走行経費 (計画)

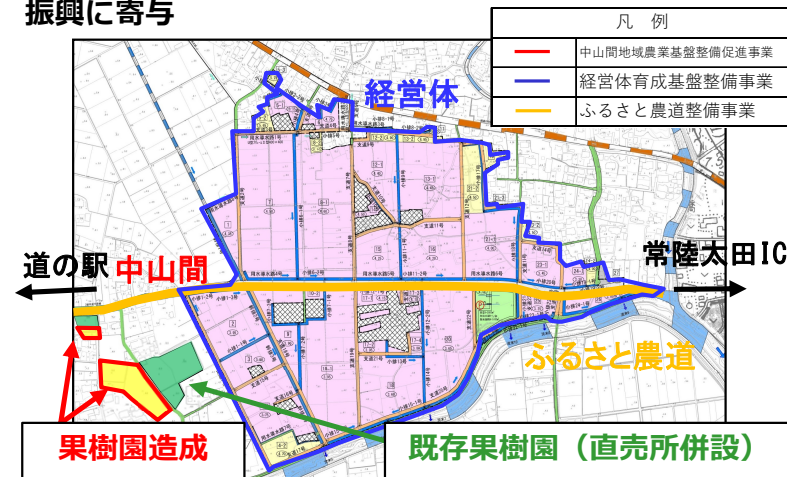


(ふるさと農道整備事業小目地区 H30事業計画概要書 経済効果資料より)

流通

高収益作物(梨)の生産拡大と地域農業の振興

市の特産品である梨の生産拡大が図られ、地域農業の振興に寄与



- 主な販売先
直売所、通信販売、道の駅ひたちおおた

- 収益増加見込み額 (梨)
若木 (1~5年) **89万円/年**
成木 (5年以降) **112万円/年**
(生産者聴き取り)

